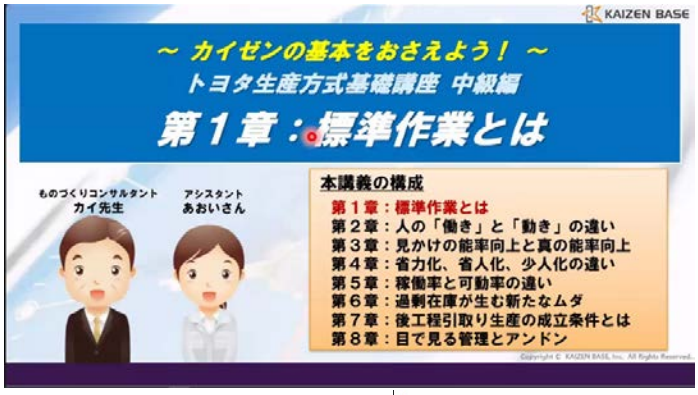
次世代自動車センター浜松　活動レポート　Vol.83

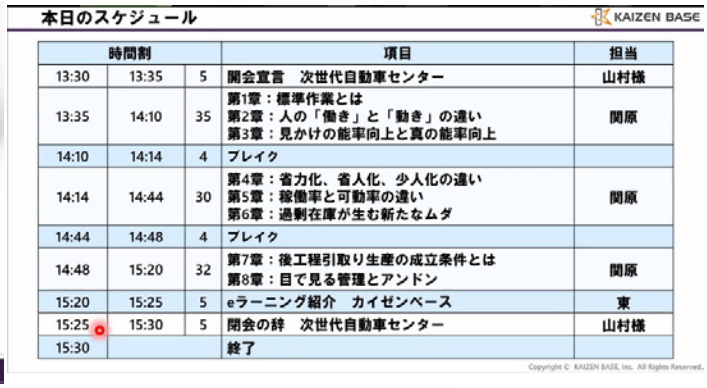
■ 第２回ｶｲｾﾞﾝﾍﾞｰｽ Web ｾﾐﾅｰ「トヨタ生産方式基礎講座（中級）」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、昨年度より、新型コロナウィルス感染症対策として、講座の Web 化に取り組んでおります。そこで、会員企業から希望の多かった若手・中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、若手・中堅技術者向け Web セミナーをカイゼンベース社に依頼して、順次実施して行きます。

今回は、第２回目として、５月 11 日に実施した「トヨタ生産方式基礎講座（初級）」の続編として中級編を、自動車工学関連講座として、Web セミナーを下記のとおり実施しました。

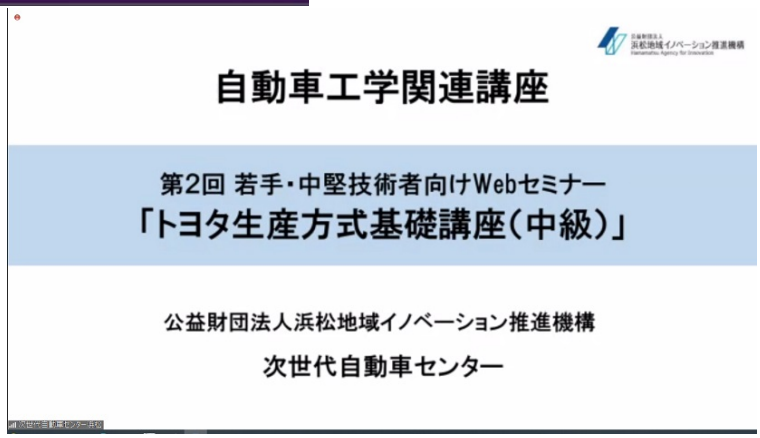
■日　時　：　令和３年６月１０日（木）13 時 30 分～15 時 00 分
■場　所　：　ｗｅｂ形式
■参加者　：　７２社/１２６名





本日のスケジュール　KAIZEN BASE

時間割			項目	担当
13:30	13:35	5	開会宣言　次世代自動車センター	山村様
13:35	14:10	35	第1章：標準作業とは 第2章：人の「働き」と「動き」の違い 第3章：見かけの能率向上と真の能率向上	関原
14:10	14:14	4	ブレイク	
14:14	14:44	30	第4章：省力化、省人化、少人化の違い 第5章：稼働率と可動率の違い 第6章：過剰在庫が生む新たなムダ	関原
14:44	14:48	4	ブレイク	
14:48	15:20	32	第7章：後工程引取り生産の成立条件とは 第8章：目で見る管理とアンドン	関原
15:20	15:25	5	eラーニング紹介　カイゼンベース	東
15:25	15:30	5	閉会の辞　次世代自動車センター	山村様
15:30			終了	



【参加者の声】

・知っていたつもりの用語について、明確に文章で書けるようになった。
・潜在的なムダ、効率 UP しているようでも利益に結び付かないという箇所が大変参考になった。
・作業標準を標準作業と思っていたことや、『働き』と『動き』の違いや真の能率向上とは何かを知ることが出来て非常に参考になった。
・省力化では無く省人化まで行わなければ改善にならないと知り、また改善に向けたステップや着目点が明確になっており、問題点の抽出において非常に参考になった。
・仕組み化するために必要なことを明確に説明してくださり、わかりやすかった。
・用語の意味や目的について、必要十分な言葉で的確な説明で、スムーズに理解ができた。
監督者の取るべき姿勢についても言及されており、業務の進め方の指針になった。
・今まで社外の生産方式に触れ合うことが少なく、社内で培ったスタイルを正としていたが、今回トヨタの生産方式を聞くことができ、社内でもまだまだいろいろよくしていくことが出来ると感じた。
・大変ためになった。特に、見かけの能率向上については、この減産時代に陥りがちな間違いを分かりやすく説明いただけ、その後の省人化を進める際の根拠として教育に使っていきたい。
・定員制を変えていくための手がかりとして職場間の多能工推進を知ることができたことは大きな収穫であった。
・省力化・省人化・少人化の考え方が参考になった。今まで理解しているようで理解しきれていなかった内容について、意味・意図が解り参考になった。
・標準作業が何なのか理解できました。１つの作業に価値と付随とムダがあることがわかった。
真の能率向上を目指すきっかけになった。
・全体的にはライン作業の事が多かったが、自社作業にも応用がききそうな事とかもあり、とても参考になった。